

1 年次前期・選択

2 単位・30 時間

【概要・目標】

（概要）

運動器の痛みは日常生活動作や生活の質に影響し、高齢者においては健康寿命にも深く関わっている。運動器の疫学を通じて患者ならびに地域の人々の健康の保持増進・予防管理に関する知識を育む。

（目標）

- 1) 加齢変性と疾患の違いを理解する。
 - 2) 運動器疼痛への対処法と予防法（一次予防、二次予防、三次予防）を理解する。
-

【授業内容・スケジュール】

- 1) ～ 2) 運動器の解剖・生理
 - 3) ～ 4) 痛みの伝達経路
 - 5) ～ 13) 臨床疫学研究の方法論（統計含む）
 - 14) ～ 15) 研究発表・まとめ
-

【評価】

日常の発表・レポート・受講態度などを踏まえ、総合的に評価する

【教科書】

講義スライドのハンドアウトなど

【推薦参考図書】

- 1) 福原俊一著：臨床研究の道標（みちしるべ）第2版 7つのステップで学ぶ研究デザイン 上・下巻、健康医療評価研究機構、2017
 - 2) 福原俊一著：リサーチ・クエスチョンの作り方 第3版（臨床家のための臨床研究デザイン塾テキスト）、健康医療評価研究機構、2015
 - 3) 竹上未紗・福原俊一著：誰も教えてくれなかった QOL 活用法 第2版-測定結果を研究・診療・政策につなげる SF-36 活用編、健康医療評価研究機構、2012
 - 4) 日本整形外科学会・日本腰痛学会監修：腰痛診療ガイドライン 2019、南江堂、2019
 - 5) 日本整形外科学会・日本脊椎脊髄病学会診断評価等基準委員会編：JOABPEQ、JOACMEQ マニュアル、2012
-

【その他】

連絡先：hashizum@wakayama-med.ac.jp